



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場会社名 エスベック株式会社
 コード番号 6859 URL <http://www.espec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 石田 雅昭
 (氏名) 大島 敬二

TEL 06-6358-4741

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	5,434	△12.4	△309	—	△206	—	△145	—
25年3月期第1四半期	6,201	△1.8	75	—	78	—	6	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 105百万円 (△37.7%) 25年3月期第1四半期 169百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△6.26	—
25年3月期第1四半期	0.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	38,911	30,375	77.5	1,297.05
25年3月期	39,724	30,455	76.2	1,301.17

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 30,169百万円 25年3月期 30,265百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	7.00	—	11.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,500	1.5	900	5.9	950	8.4	500	△19.1	21.50
通期	32,000	3.9	2,300	23.2	2,400	11.0	1,300	6.6	55.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.4「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	23,781,394 株	25年3月期	23,781,394 株
26年3月期1Q	521,499 株	25年3月期	521,449 株
26年3月期1Q	23,259,912 株	25年3月期1Q	23,260,254 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想・配当等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、米国を中心とする海外経済の持ち直しや円安の進行に伴う輸出環境の好転などにより景況感の改善が見られましたが、景気回復のペースは緩やかなものとなりました。

当社の主要顧客におきましては、自動車関連メーカーでは積極的な投資が継続しましたが、その他のメーカーでは投資に慎重な姿勢が根強く、本格的な投資回復は見られませんでした。

こうした中、当社は、グリーンテクノロジー市場において取り組み範囲を拡大するとともに、設備投資が比較的堅調な恒温恒湿室ビルドインチャンバーやカスタム製品などの受注獲得に注力してまいりました。また、海外市場では、中国・アジアや米国において営業活動を強化してまいりました。

しかしながら、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、前年同四半期連結累計期間比で受注高は0.7%減少し7,757百万円、売上高は12.4%減少し5,434百万円となりました。利益面につきましては、売上高の減少や原価率の悪化などにより、309百万円の営業損失、145百万円の四半期純損失となりました。

	前第1四半期連結累計期間 (25年3月期) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (26年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	7,808	7,757	△0.7
売上高	6,201	5,434	△12.4
営業利益又は営業損失 (△)	75	△309	—
経常利益又は経常損失 (△)	78	△206	—
四半期純利益又は 四半期純損失 (△)	6	△145	—

セグメント別の業績

当第1四半期連結累計期間のセグメント別業績

	受注高 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益又は 営業損失 (△) (百万円)
装 置 事 業	6,305	4,167	△307
サ ー ビ ス 事 業	1,238	1,036	30
そ の 他 事 業	251	261	△33
連 結 消 去	△38	△30	0
計	7,757	5,434	△309

<装置事業>

環境試験器につきましては、国内市場では、本格的な投資回復が見られず、恒温恒湿器プラチナスJシリーズや冷熱衝撃装置TSAシリーズなどの汎用性の高い製品の売上高が前年同四半期連結累計期間比で減少しました。恒温恒湿室ビルドインチャンバーにおいては、前期に引き続き受注獲得に注力し、前年同四半期連結累計期間比で受注高・売上高ともに増加しました。海外市場におきましては、欧米では前年同四半期連結累計期間比で売上高が増加しましたが、中国経済の成長鈍化による投資抑制の影響を受け、中国の売上高は前年同四半期連結累計期間比で減少しました。こうした結果、環境試験器全体では、受注高・売上高ともに前年同四半期連結累計期間比で減少しました。

エナジーデバイス装置につきましては、二次電池やパワー半導体などの分野に向けて営業活動を強化してまいりましたが、投資の踊り場が継続し、受注高・売上高ともに前年同四半期連結累計期間比で減少しました。

半導体関連装置につきましては、受注高は前年同四半期連結累計期間比で減少したものの、売上高は前期受注残もあり大幅に増加しました。

FPD関連装置につきましては、海外メーカーよりクリーンオープンを受注し、前年同四半期連結累計期間比で受注高は大幅に増加しましたが、売上高は減少しました。

こうした結果、装置事業全体では、前年同四半期連結累計期間比で受注高は前年度並みの6,305百万円となったものの、売上高は15.9%減少し4,167百万円となりました。営業利益につきましては、売上高の減少などにより307百万円の営業損失となりました。

	前第1四半期連結累計期間 (25年3月期) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (26年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	6,296	6,305	0.1
売上高	4,955	4,167	△15.9
営業利益又は営業損失 (△)	39	△307	—

<サービス事業>

アフターサービス・エンジニアリングにつきましては、顧客の経費削減が継続し、前年同四半期連結累計期間比で受注高・売上高ともに減少しました。

受託試験・レンタルにつきましては、主力のテストコンサルティングにおいて自動車市場が堅調に推移したことにより、前年同四半期連結累計期間比で受注高は増加しましたが、売上高は減少しました。

こうした結果、サービス事業全体では、前年同四半期連結累計期間比で受注高は4.2%減少し1,238百万円、売上高は8.6%減少し1,036百万円となりました。営業利益につきましては、売上高の減少により前年同四半期連結累計期間比で66.7%減少の30百万円となりました。

	前第1四半期連結累計期間 (25年3月期) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (26年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	1,293	1,238	△4.2
売上高	1,133	1,036	△8.6
営業利益	91	30	△66.7

<その他事業>

環境エンジニアリング事業において、森づくりや水辺づくりが好調に推移するとともに、植物工場事業も堅調に推移しました。こうした結果、その他事業全体では、前年同四半期連結累計期間比で受注高は2.7%減少し251百万円となったものの、売上高は85.9%増加し261百万円となりました。利益面につきましては、前年同四半期連結累計期間比で改善したものの33百万円の営業損失となりました。

	前第1四半期連結累計期間 (25年3月期) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (26年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	258	251	△2.7
売上高	140	261	85.9
営業損失 (△)	△54	△33	—

※ 当社グループにおいては、お客さまの予算執行の関係により、契約上の納期が第2・第4四半期連結会計期間に集中する傾向が強いため、四半期別の売上高をベースとする当社グループの業績には著しい季節の変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は38,911百万円で、前連結会計年度末と比べ813百万円の減少となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の減少1,409百万円、有価証券の減少500百万円、商品及び製品の増加310百万円、仕掛品の増加792百万円などによるものであります。また、負債は8,536百万円で前連結会計年度末と比べ732百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少506百万円、その他流動負債の減少217百万円などによるものであります。純資産は30,375百万円で前連結会計年度末と比べ80百万円の減少となり、その主な要因は利益剰余金の減少331百万円、為替換算調整勘定の増加203百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間および通期の連結業績につきましては、現時点において業績計画を修正すべき状況が発現していないことから、当初の業績予想を修正しておりません。

なお、実際の業績等に影響を与える可能性のある重要なリスクは、平成25年3月期決算短信の6ページに記載の「事業等のリスク」から変更ありませんが、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度より重要な変更はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,371	8,951
受取手形及び売掛金	11,264	9,855
有価証券	3,901	3,401
商品及び製品	333	643
仕掛品	926	1,718
原材料及び貯蔵品	1,101	1,208
その他	1,523	1,749
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	28,414	27,521
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,060	3,065
土地	4,406	4,414
その他（純額）	1,063	1,041
有形固定資産合計	8,530	8,521
無形固定資産	217	202
投資その他の資産	2,561	2,666
固定資産合計	11,309	11,390
資産合計	39,724	38,911
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,730	4,224
未払法人税等	203	32
賞与引当金	372	574
役員賞与引当金	3	—
製品保証引当金	239	202
その他	2,142	1,924
流動負債合計	7,692	6,957
固定負債		
退職給付引当金	26	28
役員退職慰労引当金	19	19
資産除去債務	51	51
その他	1,479	1,479
固定負債合計	1,576	1,578
負債合計	9,269	8,536

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,895	6,895
資本剰余金	7,172	7,172
利益剰余金	17,619	17,287
自己株式	△360	△360
株主資本合計	31,327	30,995
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	443	475
土地再評価差額金	△742	△742
為替換算調整勘定	△763	△559
その他の包括利益累計額合計	△1,062	△826
少数株主持分	190	205
純資産合計	30,455	30,375
負債純資産合計	39,724	38,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	6,201	5,434
売上原価	4,147	3,746
売上総利益	2,054	1,688
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	545	579
賞与引当金繰入額	58	59
製品保証引当金繰入額	43	25
役員賞与引当金繰入額	0	—
その他	1,331	1,333
販売費及び一般管理費合計	1,978	1,997
営業利益又は営業損失 (△)	75	△309
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	26	34
持分法による投資利益	9	—
為替差益	—	44
その他	11	21
営業外収益合計	54	107
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	46	—
支払手数料	2	2
その他	2	1
営業外費用合計	51	3
経常利益又は経常損失 (△)	78	△206
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	54	—
特別損失合計	54	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	24	△205
法人税、住民税及び事業税	7	△58
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	16	△147
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	10	△1
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	6	△145

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	16	△147
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△58	32
為替換算調整勘定	182	220
持分法適用会社に対する持分相当額	29	—
その他の包括利益合計	153	253
四半期包括利益	169	105
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	149	90
少数株主に係る四半期包括利益	20	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	4,953	1,108	139	6,201	—	6,201
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	24	0	27	△27	—
計	4,955	1,133	140	6,229	△27	6,201
セグメント利益又は セグメント損失(△)	39	91	△54	75	△0	75

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	4,167	1,006	260	5,434	—	5,434
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	30	0	30	△30	—
計	4,167	1,036	261	5,465	△30	5,434
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△307	30	△33	△309	0	△309

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。